

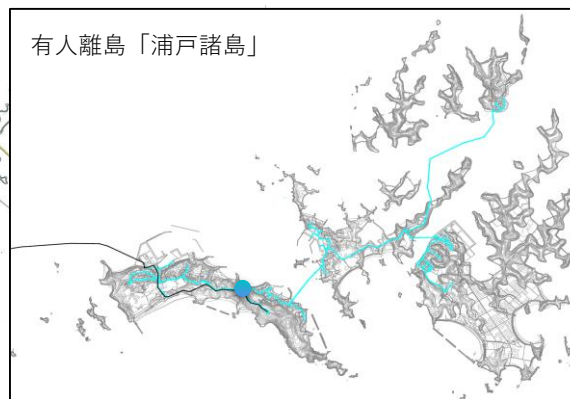
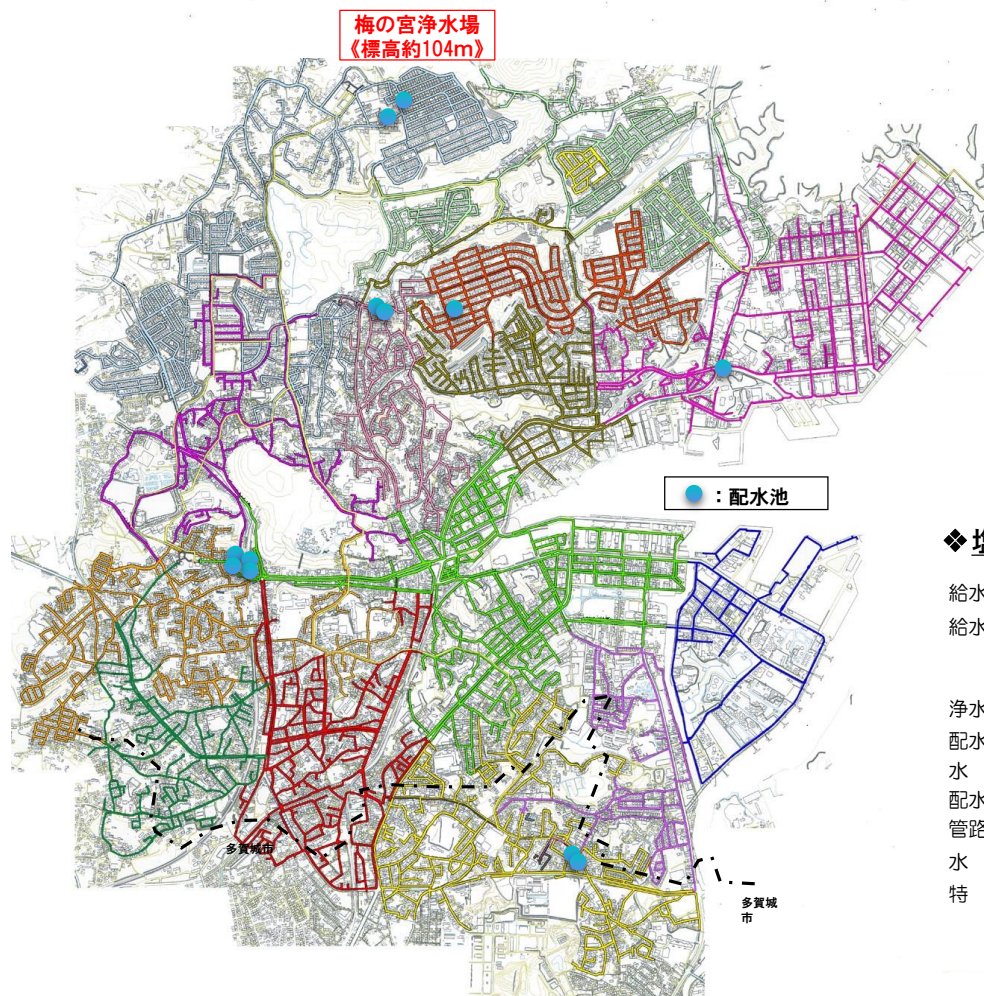
# 塩竈市水道管路更新計画について

塩竈市上下水道部業務課・上水道課

令和8年3月17日



# 塩竈市水道事業の概要



## ◆ 塩竈市水道事業の概要

給水区域	塩竈市と多賀城市の一部
給水人口	57,551人（令和7年3月31日現在） ・塩竈市_51,533人 ・多賀城市の一部_6,018人
浄水場	梅の宮浄水場（施設能力30,000 m <sup>3</sup> /日）
配水量	平均 約20,000 m <sup>3</sup> /日
水系	16水系
配水池	16施設（本土部_14、離島_2）
管路延長	送・配水管 約330km、導水管 約22km
水源	大倉水系及び仙南・仙塩広域水道
特色	・大倉ダム～市内配水の全てが自然流下方式 ・本土から海底管で浦戸諸島に供給



# 水道管路の状況

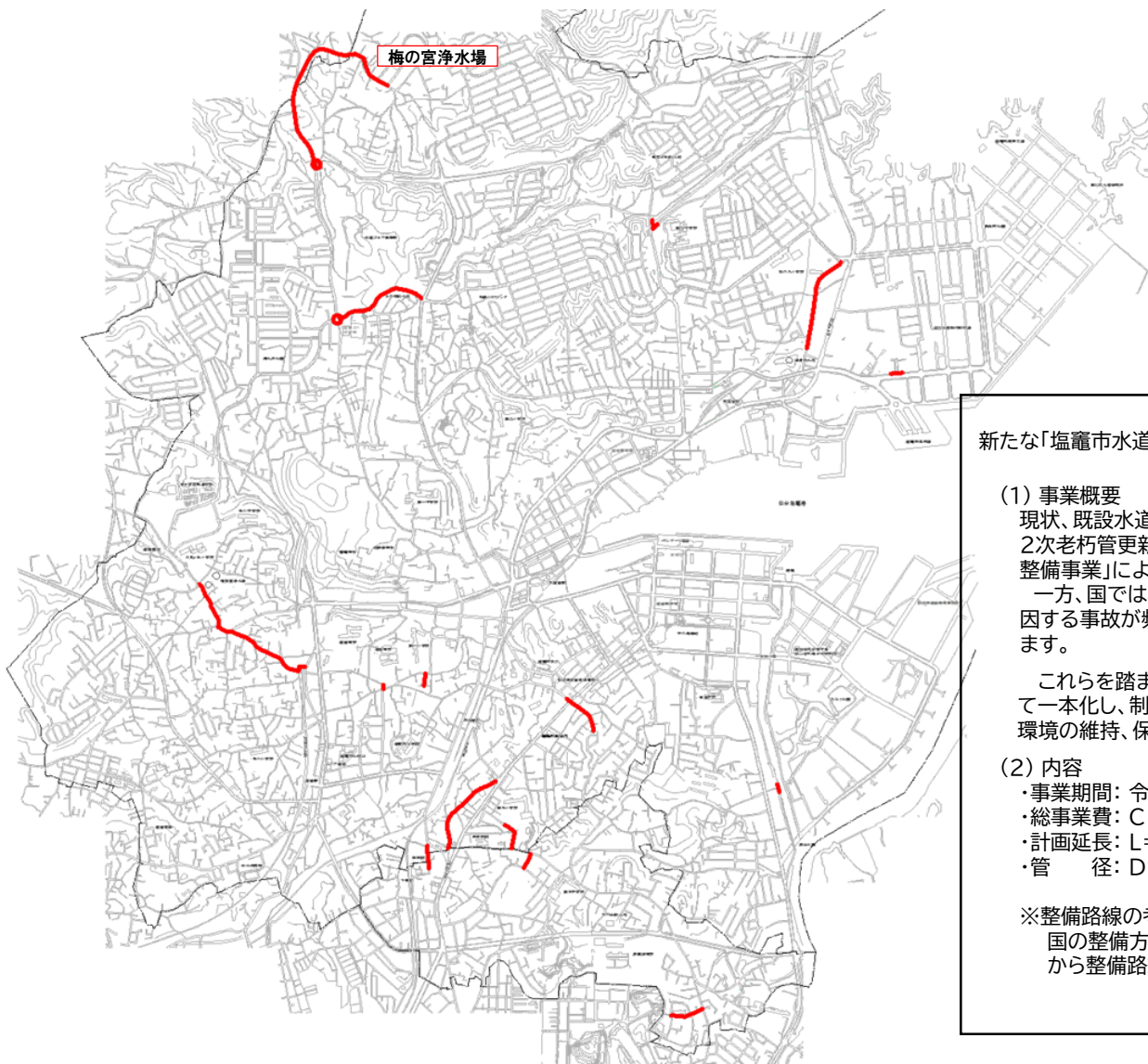
- ・管路情報 : 送・配水管延長 約330Km ( $\phi 50^{\text{mm}}$ ~ $\phi 600^{\text{mm}}$ )  
導水管延長 約22Km ( $\phi 700^{\text{mm}}$ )
- ・管路更新率 : 0.28%(R6年度末) ※全国値:0.53%
- ・管路経年化率の最新版 : 約40%(R7年度末見込) ※全国値:23.6%
- ・耐震化率の最新版 : 約29%(R7年度末見込) ※全国値36.5%

(参考)

重要路線(48.2Km)の耐震化率 : 約64%(R7年度末見込) ※全国値42.3%



# 塩竈市水道管路更新計画



## 新たな「塩竈市水道管路更新計画」について

### (1) 事業概要

現状、既設水道管の入替えについては、補助対象となる重要路線については「第2次老朽管更新事業」により、また、補助対象外の路線については「第7次配水管整備事業」により進めており、両事業とも本年度末までの事業期間となっています。一方、国では、能登半島地震によるインフラの被災状況や、管路の老朽化に起因する事故が頻発している状況等を踏まえた補助制度の見直しが進められています。

これらを踏まえ、本市では2つの事業計画を『塩竈市水道管路更新計画』として一本化し、制度変更に柔軟に対応できるよう整え、引き続き安全・安心な給水環境の維持、保全に取り組んでいきます。

### (2) 内容

- ・事業期間：令和8年度～令和17年度(10か年計画)
- ・総事業費：C = 3,140,261千円
- ・計画延長：L = 3,510m
- ・管径：D =  $\phi 50\text{mm}$  ～  $\phi 600\text{mm}$

#### ※整備路線の考え方：

国の整備方針に準じ、重要路線 > 漏水多発路線 > 布設年度及び埋設土壌等から整備路線を設定。



# 令和8年度水道管路更新事業について

## 1. 全体計画

令和6年1月に発生した能登半島地震を起因として、これまで以上に災害に強い水道施設へ更新する必要性が求められている。本計画は、国の交付金制度を活用し、重要路線の耐震化を図り、安心安全な給水の確保と災害に強い水道施設を整備するもの。

・事業年度：令和8年度～令和17年度

・口径：D=50～600mm

・総事業費：3,140,261千円

・計画延長：L=3,510.0m

## 2. 令和8年度事業概要

事業費：330,997千円

No	事業箇所	種別	口径	延長	摘要
1	清水沢三丁目外1 地内	耐震化	D=600mm	L=50.0m	国庫補助
2	権現堂 地内	耐震化	D=200mm	L=150.0m	国庫補助
3	錦町 地内	経年（舗装復旧）		A=1,760㎡	単独

